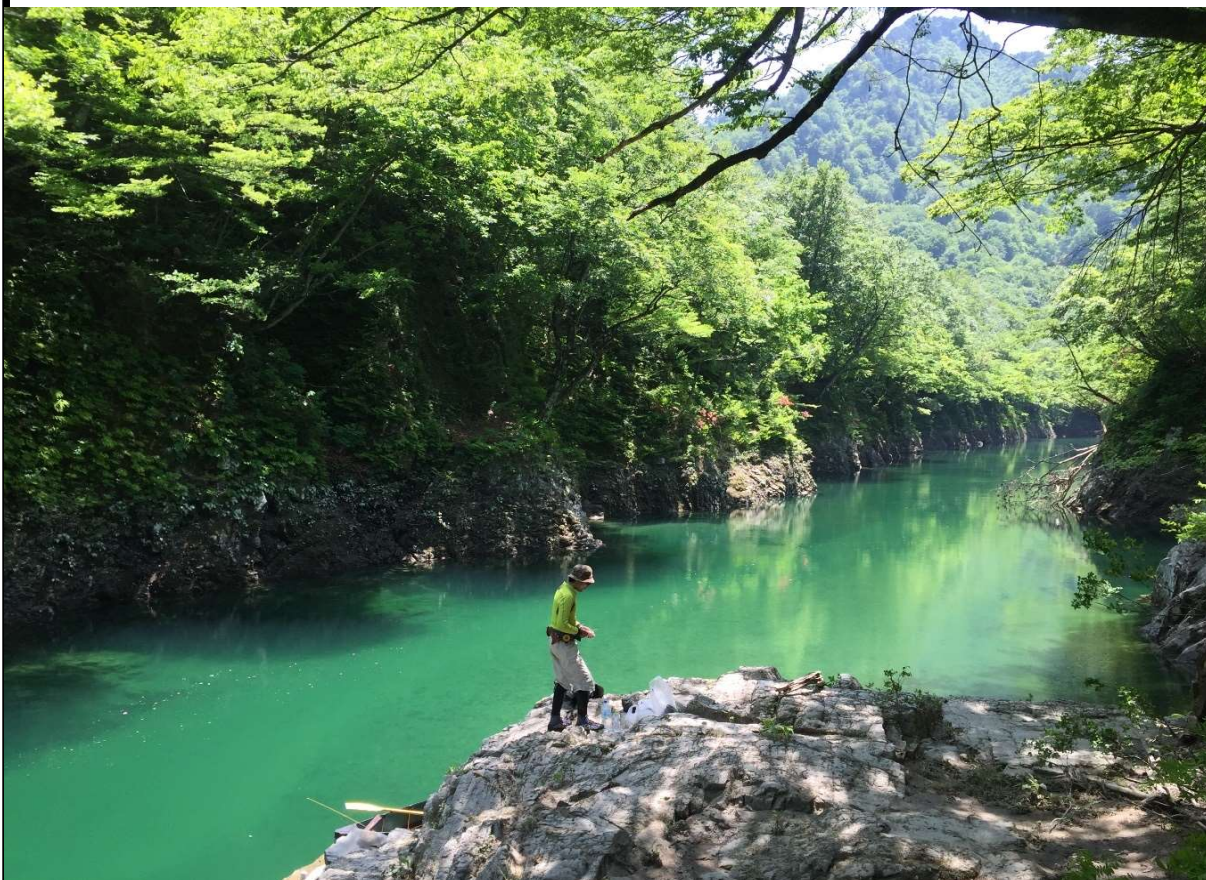


匿名： 改良済み新型マッドウィルス

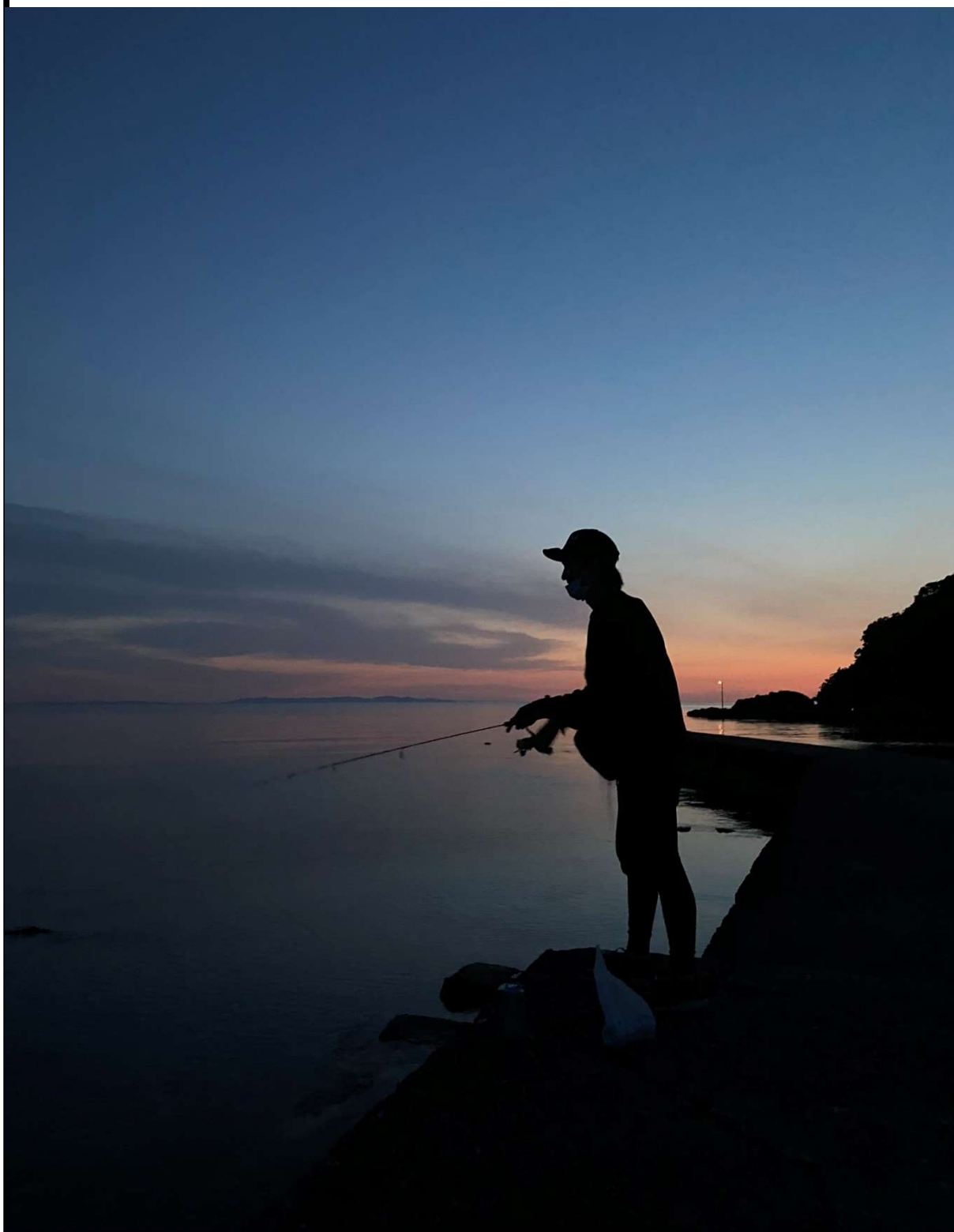
タイトル： 三面川源流域



コメント： 奥三面ダムからカヌーで1時間の村上市です。

匿名: '@yoppy0729

タイトル: ゆうまづめ



コメント: 今年は釣り人多かった！

匿名： こん

タイトル： 重要文化財で遊ぶ♪



コメント： 関川村の国指定重要文化財 渡辺邸で駆け回る子供達。

匿名： 山さん

タイトル： 夏空に映える天蓋山



コメント： 真夏の青い空と天蓋山の緑が綺麗だったので写真を撮りました！

匿名: 山さん

タイトル: 夕映



コメント: 瀬波温泉から見える夕陽

匿名： ちみっこ

タイトル： 朝日の山頂から



コメント： 実家の山から海が見えました。

匿名： テンプル・テイル

タイトル： 必ず明ける



コメント： どんな時代が来ようとも新たな時代が始まる。コロナ禍の時代も、単なるキッカケでしかありません。前向きに進む。これしかない

匿名： パパラッチ

タイトル： 耕雲寺「菊水の紋の由来」



コメント： 門前にある耕雲寺は1394年に傑堂能勝禅師（けつどうのうしょうぜんじ）が開かれた寺で、能勝は南北朝時代に忠臣と呼ばれた楠木正成（くすのきまさしげ）の孫と言われています。

能勝禅師は30年の間に門弟の育成と衆生教化に努められ、曹洞宗の学びだけでなく易学など宗派を超えた当時の最高レベルの学問を学んでいたようです。

最盛期には境内に七堂伽藍（しちどうがらん）が整備され100名を超える僧侶が修行に励み、周辺の国人領主の多くが耕雲寺の住職を招いて菩提寺を創建していきました。

その隆盛は、越後だけでなく関東北部、東北部や岩手、青森方面に直末（じきまつ）寺80、孫末（まごまつ）寺800に至ったそうです。能勝禅師は1427年、8月7日に耕雲寺で73才で亡くられています。

ところで、天皇家の家紋は菊です。菊の紋は、足利尊氏も豊臣秀吉も時の天皇からいただいています。楠木正成も後醍醐天皇から菊の紋を下賜されました。

それに対して正成は、天皇家の家紋などあまりにも身に余ることだと考え、菊の花が川の流れにゆっくり身を任せているような美しい菊水の家紋を使うようになったのです。それゆえ、耕雲寺の家紋は菊水であり、そのゆかりの寺はすべて菊水の紋になっているのです。



匿名： 迷い猫

タイトル： リセット空間



コメント： 毎日いろいろな気持ちを抱えて帰る。  
嬉しいことも、悲しいことも、辛いときも、  
疲れたのときも。  
家に持ち帰って、子供と愛犬と散歩に出かける  
田んぼ道。晴れていれば、清々しい。  
霧雨の時は、こころ流される。  
私のいつものリセット空間。  
大きな空と、のどかな道。  
春夏秋冬感じて、いつも気持ちを切り替える。  
大切な私のリセット空間。

匿名： のの

タイトル： おたき様



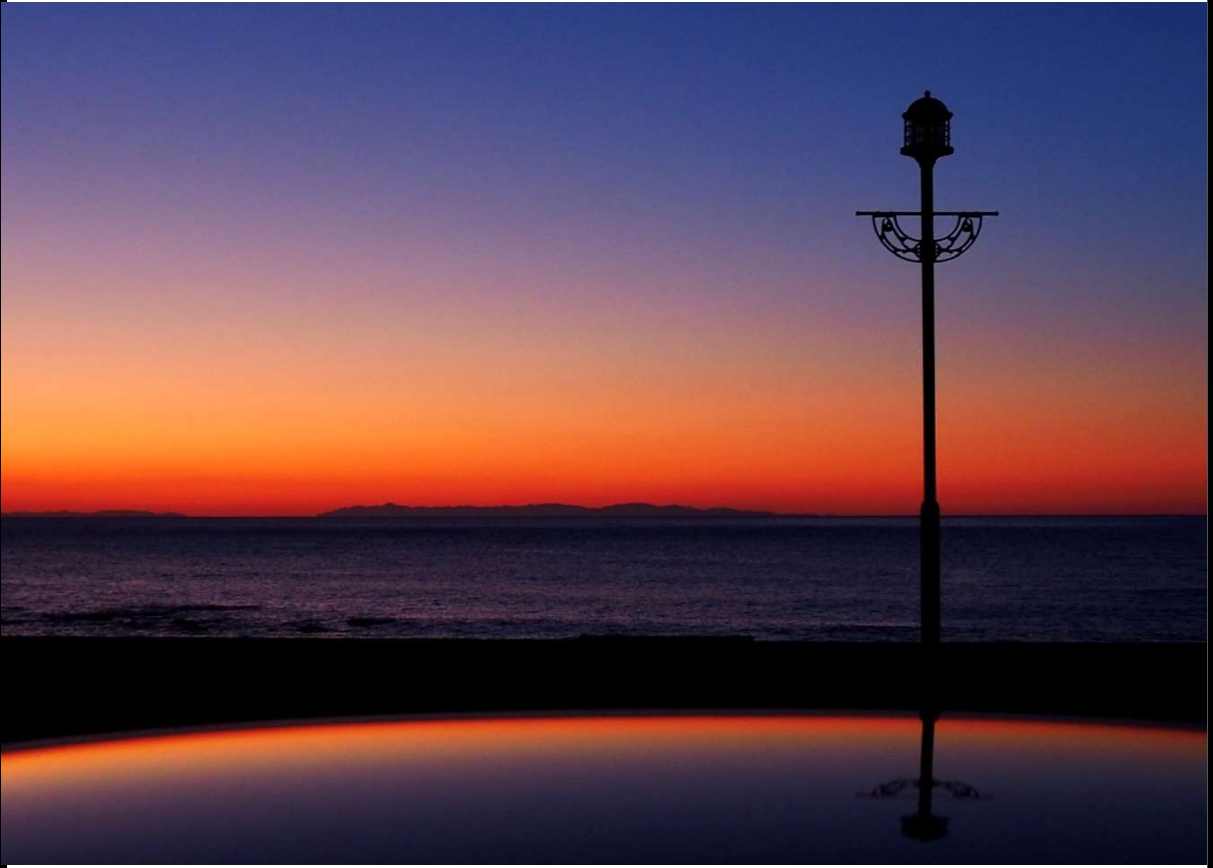
コメント： 三面川の入口にある多岐神社。

細い道を進むのはちょっとした冒険気分。

手間にある滝も素敵。

匿名： Rumi Nino

タイトル： 愛車と夕映えと…。

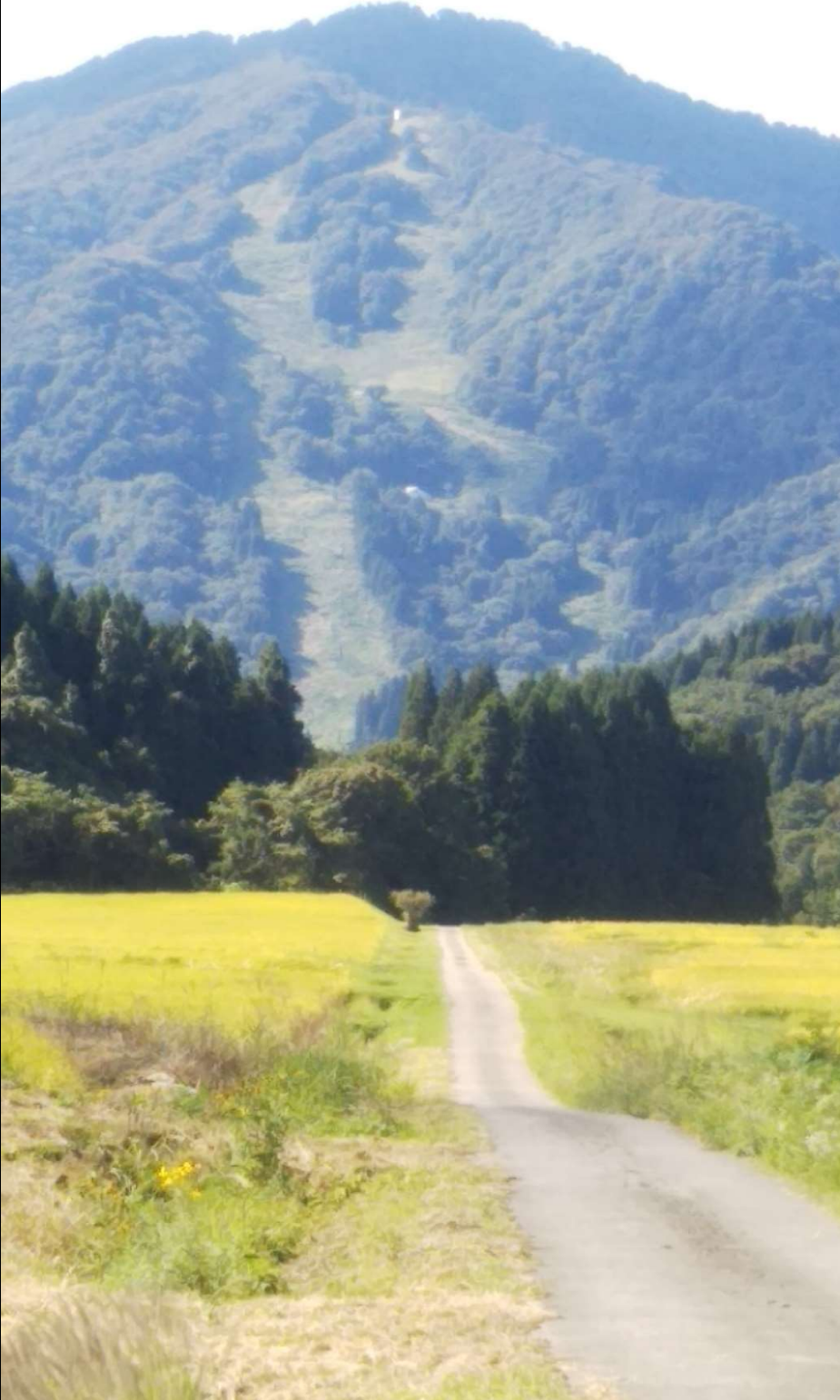


コメント： 日没後の真っ赤な水平線が車に映る、夕映えの頃。海の向こうには佐渡ヶ島もぼんやり。

(海府ふれあい広場にて)

匿名： リカ

タイトル： 「池の平」から見る『葡萄スキー場』



コメント： 葡萄スキー場と同じ標高にある「池の平」田んぼ群。ここから採れるコシヒカリは、まさに極上米です。

匿名： リカ

タイトル： 池の平(一つ目池)に浮かぶ秋の空



コメント： 葡萄スキー場と同じ標高にある「池の平」にある湧き水の池(一つ目)。水面に浮かぶ秋の空とのコントラストが美しすぎます。

匿名： ナオミ

タイトル： 「大須戸能」装束の虫干し



コメント： 新潟県無形文化財の「大須戸能」。

年に一度、装束のメンテナンスのための『虫干し』行事が行われます。普段見ることのできない貴重な品々を観れる絶好の機会でもあります。

匿名： リカ

タイトル： 湧き水の池(一つ目)に浮かぶ秋の空



コメント： 葡萄地区の「池の平」にある湧き水の池(一つ目)。秋の空が写り込む池面は幻想的な風景です。

匿名: ほいほい

タイトル: さいの神



コメント: 多くの地域で年明けに行われる行事。餅やスルメを焼いて食べる。



匿名： 新米パパ

タイトル： 初お宮参り



コメント： 戦時中失われた青銅大燈籠が76年振りに復元された藤本神社での初お宮参り。  
昔と変わらぬ神事に歴史を感じる事が出来ました。

匿名： そうm

タイトル： 多岐神社への参道



コメント： 多岐神社へ続く参道と滝。ロケーションが素晴らしい。

匿名： そうm

タイトル： 南大平ダム湖公園



コメント： キレイな芝のフリーサイト、村上市民は利用料無料！近くに天文台もある穴場のキャンプ場！

匿名： そうm

タイトル： 海府ふれあい広場の海



コメント： いつも釣り人がいるあの場所！

匿名： 齋藤

タイトル： 自然



コメント： 春の三面川

匿名： そうm

タイトル： 吉祥清水



コメント： 村上市大毎の有名な湧き水

匿名： そうm

タイトル： 恐竜



コメント： 瀬波の恐竜公園のシンボル

匿名： そうm

タイトル： 大須戸の湧き水



コメント： 村上市大須戸のお墓の近くにある湧水



匿名： そうm

タイトル： ネオワイズ彗星と栗島



コメント： 村上市吉浦近くの海岸から見た栗島と彗星

匿名： そうm

タイトル： 早稲田の大杉



コメント： 村上市早稲田にある白山神社の御神木、直径2 m超えの大木

匿名： 佐藤 正和

タイトル： 秋の朝日村



コメント： 朝日村で道に迷っている時に、美しい風景に遭遇したので思わず写真を撮りました。

匿名： さっく

タイトル： 夜の華やかな岩船大祭



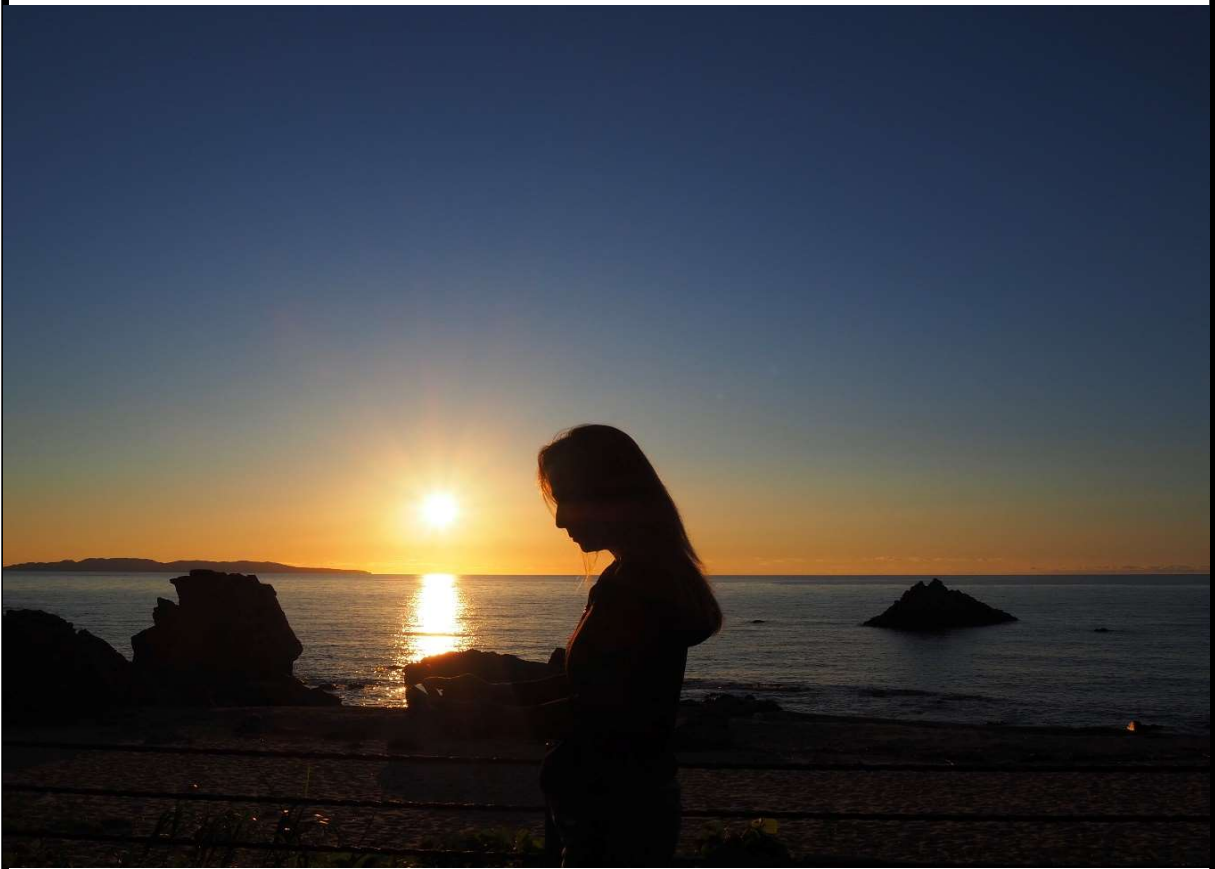
コメント： 村上三大祭の一つ、岩船大祭。

丸一日にもおよぶ祭のクライマックスの一つ、上町と惣新町の「アンリョウがけ」の一コマ。

みな一日中屋台を曳き廻してヘトヘトのはずなのに、このときばかりは今年の総仕上げとばかりに全力で盛り上がっていました。

匿名： Rumi Nino

タイトル： 夕日と栗島と私と…。



コメント： 美しい笹川流れの夕日と栗島。  
そこに自分を入れて撮ってみました。

匿名： とくめい

タイトル： 早稲田の歴史



コメント： 職人が多い集落であった早稲田には江戸時代から続くお正月の儀式がある。規矩術を伝えたと言われる聖徳太子を祀って、年初めに安全と商売繁盛を願ってお詣りする儀式だ。  
当時から貴重な情報交換やコミュニケーションの大切な会であったそうなの。今では年々、職人も減ってお詣りする人は減ってはいるが、昔から伝わる儀式を大切に継承する様は、建築技術を脈々と相伝していった職人の気概を感じさせる。

匿名： 匿名

タイトル： 夕陽に向かって



コメント： 夕陽に向かって

匿名： ゆっかまん

タイトル： 三猿



コメント： 村上城下の鬼門封じの場所として

庚申堂の創建は天文9（1540）年。行海上人が摂津国（大阪）から勧請し、安良町に祭ったといわれています。

寛文7（1667）年に現地へ移りますが、それは現地在村上城下の中心「札の辻」（大町・上町・安良町の接点）からみて表鬼門に当たるため、城下の鬼門封じのためだったといわれています。

主に観光では入り口の金剛力士像に目がいきますが、中では三猿が上から参拝者を見えています。



匿名：      メテオ

タイトル：   朝日村の自然



コメント：   本当に気持ちがいい夏でした

匿名：      メテオ

タイトル：   朝日村の自然2



コメント：   本当に気持ちがいい夏でした

匿名： 田宮

タイトル： 石動神社



コメント： ここは、息が切れるほどの急で長い石階段を上った所。  
海の安全と港の守り神として鎮座し祀られている、石動神社からです。  
これからも荒れる日本海と寝屋の港をよろしくお願いします。